



Convactor Heater

デロンギ コンベクターヒーター

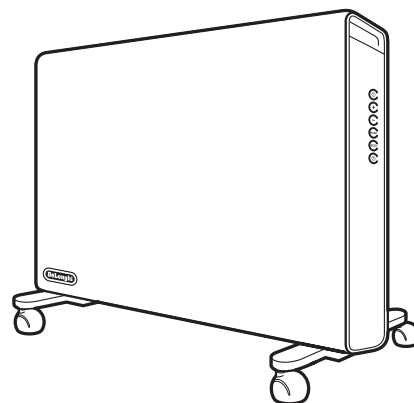
型式番号

HXJ60L12

家庭用

取扱説明書（保証書付）

このたびは、デロンギ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品を正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。お読みになった後は、保証書とともに大切に保管してください。本書に記載の内容は、改善のため予告なく変更する場合があります。



目次

安全上のご注意.....	2
ご使用前に	4
各部の名称とはたらき	5
基本の使いかた.....	7
その他の使いかた.....	8
故障かな?	10
お手入れ／保管.....	12
電源プラグ・コードの安全チェックシート	12
仕様.....	13
アフターサービス.....	14
保証書	15

■ キャスターの取り付けかた

作業前に、付属品（キャスター 2個、固定用ネジ4本、簡易ドライバー）がそろっていることを確認してください。



ヒーターの転倒や事故をふせぐため、
ご使用前に必ずキャスターを取り付けてください。

1 本体を底面が上になるように立てる

- 作業中に本体が倒れないよう、しっかりと支えをしてください。
- 柔らかい布などを使って、壁や家具、床には直接触れないようにしてください。材質によっては傷がつく恐れがあります。

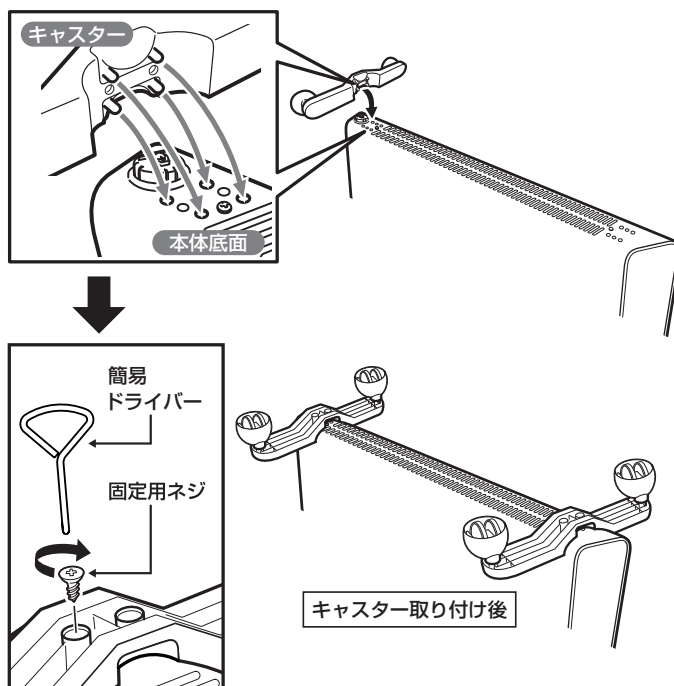
2 片側のキャスターを取り付ける

- ① キャスターの突起と底面の穴を合わせて、はめ込んでください。
- ② 固定用ネジ（2本）をキャスターの穴に差し込んで、時計回りに締め付けます。
- ③ 締め付け後、キャスターがしっかり固定されていることを確認してください。

3 手順 ② と同じように反対側のキャスターを取り付ける

4 キャスターが下になるようにゆっくり立てる

- 天面と底面を両手でしっかり持って、倒れないように注意してください。



安全上のご注意 <必ずお守りください>

- ご使用前に必ずこの「安全上のご注意」を最後までお読みください。
- ここに示した注意事項は製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人への損害を未然に防止するものです。



誤った取り扱いをしたとき、死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの



誤った取り扱いをしたとき、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつく可能性のあるもの

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です。)



必ずしなければいけないことを示します。



してはいけないことを示します。

警告



定格15A(100V)のコンセントを単独で使用する

(火災、感電の原因)

- ※ ゆるんだコンセント、延長コード、テーブルタップなどは使用しないでください。
- ※ 海外など、異なる電源電圧の地域で使用しないでください。(日本国内専用)

電源プラグは根元までしっかりと差し込む

(火災の原因)

電源プラグやコンセントのほこりは定期的に乾拭き掃除をする

(火災の原因)

- ※ 12ページ「電源プラグ・コードの安全チェックシート」参照

電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜く

(火災、感電の原因)

異常、故障時には直ちに使用を中止する

(火災、感電、やけどの原因)

〈異常、故障例〉

- 電源プラグ・コードが異常に熱くなる。
- 異常な音やにおいがする。
- 本体が転倒または落下し、損傷した。

異常、故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、販売店または当社へ点検、修理を依頼してください。



お子様や自分で本機の温度を調節できない方には必ず付き添う

(火災、感電、けが、やけどの原因)

- 子供が機器(電源コード含む)で遊ばないよう監視する。
- ※ 本製品は、安全に関する知識や経験が少ない方の使用は想定しておりません。小さなお子様、乳幼児、取り扱いに不慣れな方が近くにいるときは、必ず操作できる人が付き添ってください。



電源プラグ・コードを破損させない

(火災、感電の原因)

- コードに重たいものを載せたり、本機の下敷きにしない。
- コードを無理に引っ張ったり、束ねたまま使用しない。
- コードをピンと引っ張ったまま使用しない。
- コードを引っ張って本体を移動させない。
- 高温部や、他の熱機器に近づけない。

電源プラグ・コードに破損、変形などの異常があるときは直ちに使用を中止し、販売店または当社へ点検、交換を依頼してください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
(感電の原因)

運転中に電源プラグを抜き差ししない
(火災、感電の原因)

電源コードを巻き付けたまま使用しない
(火災の原因)
※ 余った電源コードは伸ばしたまま使用してください。

警告



カーテン、ふとんなど燃えやすいものや、コンセントのすぐ近くで使用しない

(火災、やけど、けがの原因)

- 電源をとるコンセントのすぐ下で使用しない。
- スプレー缶やカセットボンベを本体の近くに置かない。

分解、修理、改造をしない

(火災、感電、やけどの原因)

穴、すき間、開口部に指やピン・針金などを差し込まない

(感電、けがの原因)

※ 特に小さなお子様にはご注意ください。



長時間同じ部位を暖めない

(やけどの原因)

※ 長時間同じ部位を暖めると低温やけどのおそれがあります。



本体や通気口をふとんや衣類などで覆わない

(火災の原因)

- 乾燥など他の用途で使用しない。

覆い掛け
禁止

注意



決められた設置方法に従う

(火災、感電、やけど、けがの原因)

※ 4ページ「設置についてのご注意」参照

お手入れや保管、本体の移動は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、冷えてから行う

(感電、けが、やけどの原因)

就寝時、外出時の際には、必ず電源プラグを抜く

(火災の原因)



水、湿気の多い場所で使用しない

(火災、感電の原因)

- 屋外や浴室など、水や湿気の多い場所で使用しない。
- 硫化ガスが発生する場所（温泉地の脱衣所など）や塩害のおそれのある場所で使用しない。



電源の入切をするための部品（タイマーなど）やその他の製品、部品を組み合わせ使用しない

(火災、感電の原因)

本体に水などの液体をこぼしたり、水洗いしたりしない

(火災、感電の原因)

運転中および運転停止後しばらくは、本体に触れない

(やけどの原因)

本体の上に乗ったり、寄りかかったりしない

(けがの原因)

※ 特に小さなお子様にはご注意ください。

犬や猫などのペットの暖房に使わない

(火災の原因)

ご使用の前に

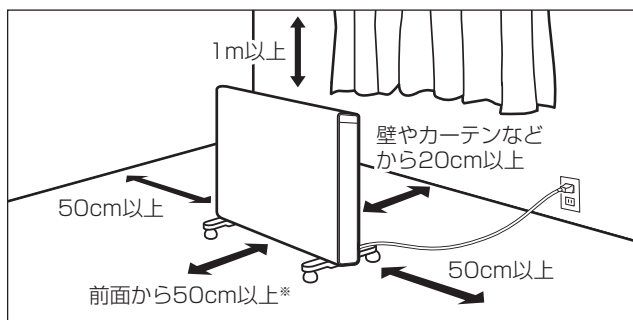
⚠ 使用上のご注意

- ヒーターの転倒や事故を防ぐため、必ずキャスター（2個）を取り付けてください。（表紙参照）
- 本書の「安全上のご注意」（2、3ページ）と「設置についてのご注意」（下記）に従って、本機を正しく設置してください。
- 本体は定期的にお手入れをしてください。お手入れ方法は、12ページをご参照ください。

⚠ 設置についてのご注意

- 壁や電源をとるコンセント、カーテンなどから離す

壁やカーテンなどの燃えやすいものから以下の距離を取り、設置してください。



※ 寝室で使用する場合は人や家具などから1m以上離してください。

- 電源をとるコンセントのすぐ下で使わない
※ 暖気で電源プラグ・コードが変形・変質し、故障などの原因になります。
- ヒーターの上や周囲に、ものが覆いかぶさらないように設置する
 - ・ テーブルや机の下で使わない
ヒーターの上部は、燃えやすいものから約1m以上の距離を取ってください。ヒーターの上部をふさぐと、空気の対流ができず高温となり、火災ややけど、故障などの原因になります。また、ヒーターの熱で電源プラグ・コードやコンセントが変形・変質し、出火する恐れがあります。
 - ・ 本体天面や底面の通気口をふさがない
特にキャスターの間に、ものを置かないようにしてください。
- ホットカーペットや床暖房の上で使用しない
温度センサーが正しく動きません。

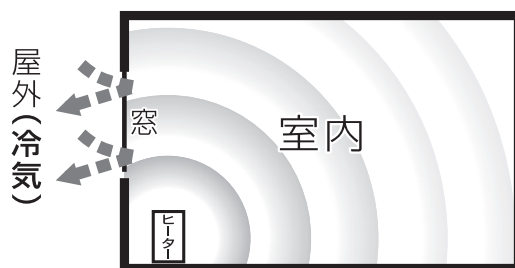
- 毛足の長いじゅうたんや凸凹のある床は避けて、平らな場所に置く

※ 本体が倒れたり、不安定な場所で傾いたりすると安全装置が働き電源が切れます。

上手な使いかた

■ 効果的な設置場所

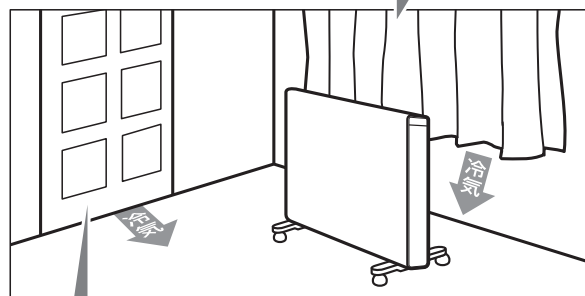
窓の下や外気に触れている壁際などに設置してください。ヒーターの暖気によって、冷気の侵入を抑えます。



■ 効果的な暖房を得るための工夫

以下の工夫で冷気の侵入を防ぐことにより、さらに効果的な暖房が得られます。

厚手のカーテンを付ける



ドアの開閉頻度を減らす

⚠ 本体を移動するときは

- 本体の移動は、必ず本体が冷えてから行う

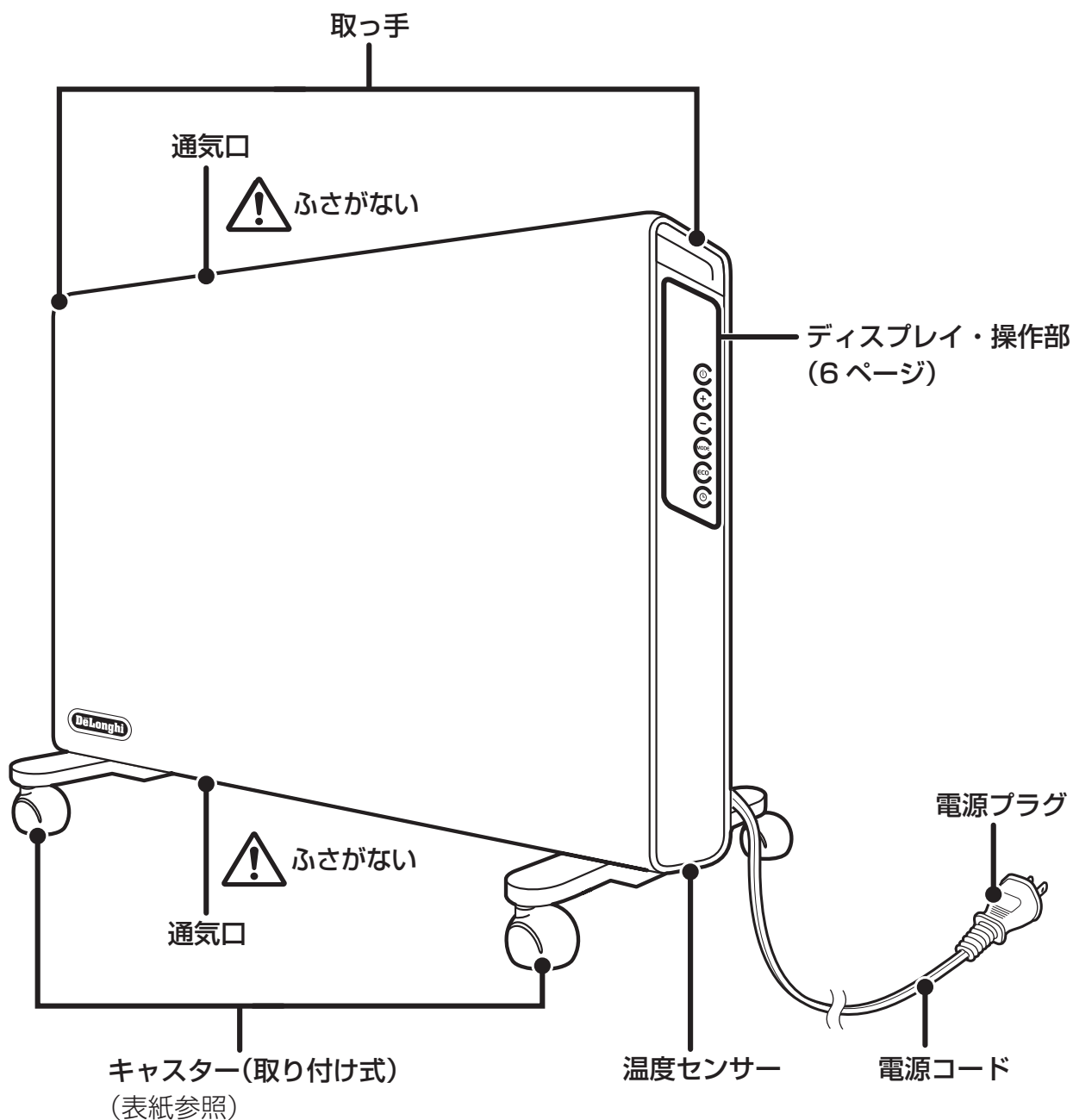
※ 床面が傷付く場合がありますので、必ずキャスターを床面に付けてゆっくり移動するか、取っ手に指を入れ、本体を持ち上げて移動してください。

各部の名称とはたらき

本体



ご使用前に各部の輸送用の粘着テープやシールを必ずはがしてください。



各部の名称とはたらき

ディスプレイ



ご使用の前にディスプレイの保護シールを必ずはがしてください。

通電表示

電源プラグをコンセントに差し込んでいるときに表示されます。

エコ運転表示

エコ運転中に表示されます。

稼働電力レベル表示

運転中の電力レベルによって違う色で表示されます。表示されていない場合は暖房休止中です。

緑で表示 : 500Wで運転中
黄色で表示 : 800Wで運転中
赤で表示 : 1200Wで運転中

電力レベル設定表示

電力レベルの設定が表示されます。

■ (弱) : 500Wで運転する設定
■ ■ (中) : 800Wで運転する設定
■ ■ ■ (強) : 1200Wで運転する設定

チャイルドロック表示

チャイルドロックが設定されているときに表示されます。

時間／温度表示

🌡️ が表示されているときは温度を、
h が表示されているときは時間を表示します。

凍結防止機能設定表示

凍結防止機能を使用しているとき（温度設定が7℃で運転しているとき）に表示されます。

タイマー予約設定表示

タイマー運転中、またはタイマー予約が設定されているときに表示されます。

操作部



電源ボタン

運転の開始／停止を行います。



+/- ボタン

温度／タイマーの設定に使用します。



モードボタン

運転モードの選択に使用します。



エコ運転ボタン

エコ運転に切り替えます。




タイマーボタン

タイマーの設定および解除に使用します。

基本の使いかた

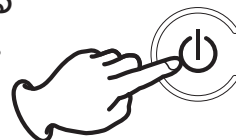
1 運転開始

電源プラグをコンセントに差し込む

- 「ピーピーピー」という音がして、 が点灯します。

▶ 電源ボタンをタッチする

- 本機の運転が始まります。



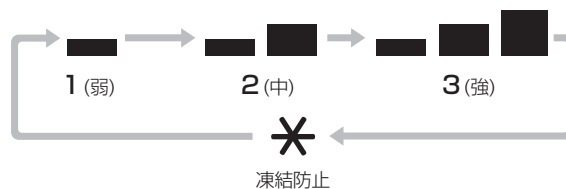
2 運転中

■ 暖房の強弱の切り替え：

モードボタンをタッチする

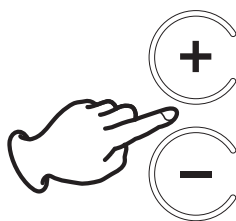


- 繰り返しタッチして、弱・中・強から好みの暖めかたを選んでください。



■ 温度の設定：

+ / - ボタンをタッチする



- 設定できる温度は、16℃から32℃です。
- 設定温度は、機器周辺の温度の目安としてご使用ください。
- 機器周辺の温度条件によっては設定温度に達しない場合があります。
- ホットカーペットや床暖房の上で使用しないでください。温度センサーが正しく働きません。

■ その他の使いかた：操作方法は、8ページから9ページをご参照ください。

ECO

エコ運転

消費電力を抑えて暖房運転したいとき



チャイルドロック

操作ができないようボタンをロックしたいとき



凍結防止

冬期の室温の下がりすぎを防ぎたいとき



タイマー運転

タイマーを使って、運転を開始／停止したいとき

3 運転停止

電源ボタンをタッチする

その他の使いかた

ECO エコ運転

設定したモードを最大として、自動で暖房の強弱を切り換えます。温度の上がりすぎを防止して、消費電力を抑えることができます。

- ① 暖房以外(凍結防止)で運転中の場合は、モードボタンをタッチして暖房運転に切り替える
● ■ / ■ ■ / ■ ■ ■ のどれかが表示されるまで、繰り返しタッチしてください。
- ② +/− ボタンをタッチして、温度を設定する
- ③ エコ運転ボタンをタッチする
● ECO が点灯したら、エコ運転が始まります。
解除するには、再度エコ運転ボタンをタッチします。



✱ 凍結防止

周囲の温度が7℃になるように断続運転して、冬期の室温の上がりすぎを防ぐことができます。

運転中に、✱ が表示されるまで、モードボタンを繰り返しタッチする


- ✱ が点灯したら、凍結防止運転中です。
- 電力レベルは切り替えられません。「強」に設定されます。

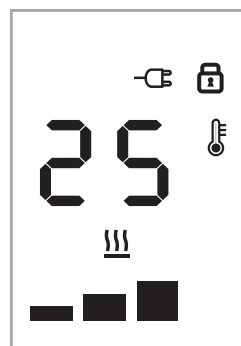


チャイルドロック

操作ができないようにボタンをロックします。

運転中に+ボタンと−ボタンを同時に3秒以上タッチし続けることで、「チャイルドロック」を行うことができます。

- チャイルドロック設定時はディスプレイに  が表示され、運転中に停止することはできますが、その他の操作ができなくなります。
解除するには、同様の操作を行ってください。





タイマー運転

0.5時間から24時間先まで、運転開始／停止を予約できます。

- タイマー時間は、10時間先までは0.5時間ごと、10時間から24時間先までは1時間ごとに設定できます。
- タイマーは、1パターンのみ設定が可能です。
タイマー設定後に、別のタイマーを設定した場合、前の設定は消えてしまいます。

タイマーをセットする

電源プラグをコンセントに差し込み、**⏻** が点灯している状態で操作してください。

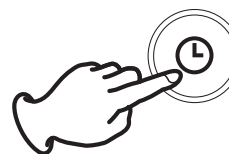
運転開始時間と運転停止時間を両方同時に設定することはできません。

運転開始時間を設定する場合（オンタイマー）：運転停止中にタイマーを設定してください。

運転停止時間を設定する場合（オフタイマー）：暖房運転中にタイマーを設定してください。

① タイマー設定

- タイマーボタンをタッチしてタイマー設定モードに入ります。
⌚ と **h** が点滅します。

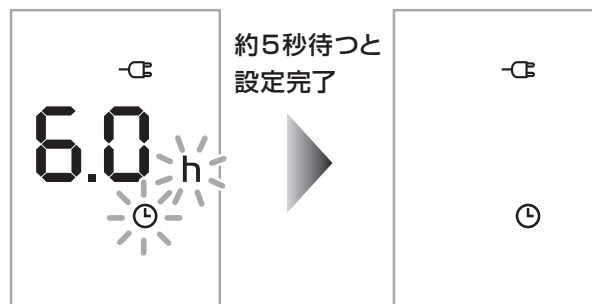


② 時間の設定

- **⌚** と **h** が点滅している間に＋／－ボタンをタッチして、時間を設定します。

③ 設定完了

- 設定が終わったら、**⌚** と **h** が点滅しなくなるまで（約5秒）待ちます。
⌚ が点灯すればタイマー設定の完了です。
- タイマーの設定後に手動で運転を開始、または停止した場合は、タイマー設定が自動的に解除されます。
- 運転開始時間または運転停止時間を変更したいときは、もう一度タイマー設定操作をしてください。



タイマーを解除する

タイマーボタンを2回タッチする

- **⌚** が消灯したら解除完了です。

- 電源プラグをコンセントから抜いたり、または停電などで通電が止まった場合は、タイマー設定が解除されます。再度設定しなおしてください。

故障かな？

修理をご依頼いただく前に、以下の項目をご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、お求めの販売店または当社（14ページ参照）までお問い合わせください。

症状（状態）	予想される原因	対処のしかた
電源ボタンをタッチしても、運転しない／暖かにならない	電源プラグが、コンセントに差し込まれていない	電源プラグを根元までしっかりとコンセントに差し込んでください。
	電力レベルが低い	モードボタンをタッチして、電力レベルを上げてください。
	設定温度が低い	+ボタンをタッチして、設定温度を上げてください。
使用中、電源プラグ・コードが異常に熱くなる	電源プラグ・コードが正しく接続されていない	正しく接続、使用されていないと、異常発熱の原因になります。「電源プラグ・コードの安全チェックシート」（12ページ）に従って、電源プラグ・コード、およびコンセントを点検してください。
部屋が暖まらない	電力レベルが低い	モードボタンをタッチして、電力レベルを上げてください。
	設定温度が低い	+ボタンをタッチして、設定温度を上げてください。
	ヒーターをドア（出入口）付近に置いて使用している	<ul style="list-style-type: none"> ●ヒーターの暖気が逃げてしまうので、ドア（出入口）から離れた場所に設置してください。 ●窓の近くで発生する冷気の侵入によってお部屋が暖まらないことがあります。（4ページ） ※外気温、部屋の広さや断熱性能によって、お部屋が暖まりにくいことがあります。
	ホットカーペットや床暖房の上で使用している	ホットカーペットや床暖房の上で使用しないでください。温度センサーが正しく働きません。（4ページ）
タイマーを設定しても、タイマーが働かない	タイマー時間を設定した後、Ⓐが点滅から点灯に変わる前にボタン操作をした	Ⓐが点灯していることを確認してください。タイマー時間を設定した後、Ⓐが点滅から点灯に変わるまでは、ボタン操作をせずにお待ちください。（Ⓐが点滅中にタイマーボタンをタッチすると、タイマーが解除されます。）（9ページ）
	タイマー設定後に電源プラグをコンセントから抜いた	タイマー設定後に電源プラグをコンセントから抜くと、タイマー設定が解除されます。（9ページ）
電力レベルを「強」に設定しているのに、「弱」または「中」で運転する	室温が0℃を下回っている	室温が0℃を下回る環境では、過剰な電力消費を防ぐため、「強」に設定した場合でも「弱」または「中」で運転します。通常は室温が0℃以上の環境でご使用ください。
設定できる温度表示が高すぎる	表示設定が華氏温度になっている	摂氏温度に戻します。電源プラグを差し込んだ状態で、+ボタンをタッチし続け、「ピピ」という音がしたら指を離してください。

症状（状態）	予想される原因	対処のしかた
ディスプレイに「・」が点滅している	転倒時自動電源遮断装置が働いている	ヒーター本体が傾いたときに起こる症状です。ヒーター本体を正しい向きに直して「・」の表示が消えたか確認してください。
ディスプレイに「H.t」と表示される	本体が障害物（カーテンや布団など）に覆われた、または下部からの吸気が妨げられたため、異常加熱して安全装置が働いている	①電源プラグをコンセントから抜き、壁などから距離をとって設置しているか確認してください。（4ページ） ②障害物を取り除いた後、本体の温度が下がるのを待ってください。（10分以上） 電源プラグをコンセントに差し込んでも運転が再開できない場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜いて、販売店または当社（14ページ）までご連絡ください。
ディスプレイに「P.F」と表示される	センサーの故障	ただちに電源プラグをコンセントから抜き、当社（14ページ）にご相談ください。
使いはじめの臭い		使いはじめは新製品特有の臭いを感じることがあります。しばらくご使用いただきますと、臭いはおさまります。

お手入れ／保管



- お手入れや保管をする場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が冷えてから行う
- 絶対に水に浸したり、水洗いしない

定期的なお手入れ

- 本体および壁や床とのすき間にたまっているゴミやほこりは、掃除機などで必ず取り除いてください。また、本体背面や底面のほこりも確認して取り除いてください。
- コンセント(刃受) および電源プラグ(刃) に付着しているゴミやほこりは、掃除機などで必ず取り除いてください。

本体が汚れたら

乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れがひどい場合は、布にお湯を含ませ、固く絞ってから拭いてください。



洗剤やクレンザー、シンナーやベンジン、金たわしなどは、使用しない

保管のしかた

1 保管前のお手入れ

保管前にたまったほこりや本体の汚れを取り除いてください。

2 保管するときのご注意

- 湿気の少ない場所に保管してください。
- 箱に収納しない場合は、必ずキャスターを取り付けた状態で保管してください。



保管の際は、逆立てたり、横倒しにしたり、上に物を置かない

電源プラグ・コードの安全チェックシート

製品を正しく、安全にお使いいただくために、下記のチェック項目に従って、使用時だけでなく、定期的に電源プラグ・コード、コンセントの点検を行ってください。

☐ コンセントを他の機器と併用していませんか？

☐ 延長コード、テーブルタップを使っていますか？

- コンセントは、定格容量15Aのものをを使う。
- コンセントを本機だけで使う(二口目を使わない)。
- 延長コード、テーブルタップは使用しない。

守らないと：火災の原因

☐ コンセントにガタツキはありませんか？

- 電気店などに依頼し、修理する。

守らないと：火災の原因

☐ 電源プラグやコンセントにほこりがついていませんか？

- 定期的に、電源プラグやコンセントに付着したほこりを掃除機などで取り除く。

守らないと：火災の原因

☐ 電源プラグ(刃)が変形していませんか？

- ペンチなどで手直しせず、お求めの販売店または当社にプラグの交換を依頼する。

守らないと：火災の原因

☐ 電源コードに重いものが載っていませんか？

- 電源コードを家具等の下敷きにしたり、壁に押し付けたりしない。

守らないと：感電や火災の原因

☐ 電源コードを束ねていませんか？

- 余った電源コードは束ねず、伸ばしたまま使う。

守らないと：火災の原因

仕様

製品名称	デロンギ コンベクターヒーター	
型式番号	HXJ60L12	
広さの目安	8畳 ^{※1} ~ 10畳 ^{※2}	
定格	電圧／周波数	交流100V / 50/60Hz
	消費電力	弱：500W、中：800W、強：1200W
外形寸法 (約)	長さ82.5cm×幅31cm×高さ56.5cm	
質量 (約)	7.5kg	
タイマー	デジタルON/OFFタイマー（同時使用はできません）	
安全装置	転倒時自動電源遮断装置、温度過昇防止装置	
付属品	キャスター（2個）、固定用ネジ（4本）、簡易ドライバー	

※1 日本電機工業会自主基準

※2 デロンギ自社実験による。試験条件：新省エネルギー基準 外気温5℃、5面接触

この製品は欧州RoHS 指令に適合した製品です。



RoHS

欧州RoHS指令とは、「電気・電子機器の特定有害物質の使用制限」を規定した欧州連合（EU）による指令です。

この製品は、鉛及びその化合物、水銀及びその化合物、六価クロム化合物、カドミウム及びその化合物、ポリブロモビフェニル（PBB）、ポリブロモジフェニルエーテル（PBDE）の含有率が、いずれも含有率基準値以下であり、環境に配慮して製造されました。

アフターサービス

1 使用中に異常(★)が生じた場合：

直ちに電源を切り(＝運転中止)、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、「故障かな?」(10～11ページ)で調べても正常に機能しない場合は、お求めの販売店または当社(下記)にご相談ください。

★以下のような場合には、点検および修理が必要です

- 使用中、電源プラグ・コード、コンセントが異常に熱くなる
- 電源プラグ・コードが変形／破損している
- 本体や操作部に、水などの液体をこぼした
- 本体に、強い衝撃(転倒・落下)を与えた
- 取扱説明書どおりに使用しているのに、正常に機能しない

万一故障した場合：

保証書に記載されている販売店に、①お買い上げ日、②製品名称と型式番号、③故障の状況—をご連絡の上、修理をご依頼ください。

※修理品の送付先については、お電話またはホームページ(下記)でご確認ください。

※修理品を送付する場合は、必ず故障の状況を記載したメモと、保証期間内の場合は保証書を同封してください。

※本製品のメーカー保証範囲は保証規定によります。保証期間を経過した製品についても、お問い合わせせ有償での修理をうけたまわります(補修用性能部品保有期間内)。

2 補修用性能部品の保有期間について：

当社では、このオイルヒーターの補修用性能部品について、最終輸入日を起点に6年間保有しております。

※補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

3 まごころ点検について：

長年ご使用のヒーターは、点検をお薦めします。

保証期間(3年)が過ぎて、少しでも気になる点がございましたら、安全のために専門技術者による点検(お預かり)をお勧めします。点検の依頼および料金等につきましては、下記にお問い合わせください。



4 デロンギ再資源化システムについて：

ご不要になった製品は、当社で費用を負担し、素材ごとに分別し、再資源化いたします。

製品のお預かり方法など、再資源化のご相談は下記までご連絡ください。



- 送料について：送料はお客様のご負担(元払い)となります。あらかじめご了承ください。
 - 梱包について：製品の入っていた箱(元箱)に入れてお送りください。元箱がない場合は、段ボール箱に入れるか、エアパッキンにくるんでください。
- ※修理や点検と区別するため、外箱または送り状に、必ず「再資源化」と明記してください。
- ※送付先については、お電話またはホームページ(下記)でご確認ください。

以上、アフターサービスについてご不明の点がございましたら、お求めの販売店または下記までお問い合わせください。

デロンギ お客様サポートセンター (受付時間：土、日、祝日を除く毎日 9:30～18:00)

Tel.0120-804-280 Fax.0120-956-020

〒201-0012 東京都狛江市中和泉5-33-37

ホームページでのお問い合わせ(URL)..... <http://www.delonghi.co.jp/support>

保証書

ご販売店さまへ、※印欄は必ずご記入ください。

持 込 修 理

製品名：デロンギ コンベクターヒーター			
型式番号：HXJ60L12			
お 客 様	ご氏名： _____ 様	TEL： _____	印
	ご住所：〒 _____		
販 売 店	※店名・住所・TEL： _____		
※お買い上げ日： _____ 年 _____ 月 _____ 日		保証期間：お買い上げ日より3年間	保証対象：本体

見 本

保証規定

本書は、お客様の正常な使用状態において万一故障した場合に、本書記載内容の範囲で無料修理を行うことをお約束するものです。

1. お買い上げの日から表記期間中故障が発生した場合は、本書と購入証明（レシート、領収書、配送伝票でも可）をご準備の上、下記までご連絡ください。お買い上げ販売店独自の保証やその他サービスがある場合は販売店へご相談ください。
2. ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
3. ご贈答品などで本保証書に記入しているお買い上げの販売店にご相談ができない場合には、下記に直接ご連絡ください。
4. 次のような場合には、保証期間内でも有料修理になります。なお、有料修理の場合の送料はお客様のご負担となりますので、ご了承ください。
 - イ. 本書のご提示がない場合
 - ロ. 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障・損傷
 - ハ. お買い上げ後の取付場所の移動、落下、輸送などによる故障・損傷
 - ニ. 火災・公害・塩害・ガス害（硫化ガスなど）・異常電圧・定格外の使用電源（電圧、周波数）および地震・雷・風水害、その他天災地変など外部に原因がある故障・損傷
 - ホ. 一般家庭用以外（例えば業務用、車両、船舶への搭載）に使用された場合の故障・損傷
 - ヘ. 購入証明（レシート、領収書、配送伝票でも可）が無く、お買い上げ日、お客様名、販売店名が確認できない場合、あるいは字句を書き換えられた場合

- ト. 消耗品が損耗し、取り替えが必要な場合
- チ. 付属品および本体から取り外せる部品の破損・紛失

5. 修理に際して代替部品に交換する場合があります。この場合、交換した部品は弊社が任意に回収のうえ適切に処理、処分させていただきます。
6. 故障状態、その他の事情により、修理に代えて同機種での製品交換、または同等能力を有する他機種への交換となる場合があります。
7. 故障によりお買い上げの製品が使用できないことによって生じた損害については補償いたしません。
8. 本書は日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only in Japan.）
9. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- この保証書は、本書に記載されている期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、下記にお問い合わせください。
- 補修用性能部品の保有期間につきましては取扱説明書「アフターサービスについて」をご覧ください。

お客様にご記入いただいた保証書の写しは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために、記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

デロンギ・ジャパン株式会社

TEL.0120-804-280 〒201-0012 東京都狛江市中和泉 5-33-37

ホームページ <http://www.delonghi.co.jp>

※上記の連絡先の名称、電話番号、所在地、営業時間に変更することがありますのでご了承ください。

